



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより春休み号
平成 20 年 3 月 25 日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 3 7 1-0 7 5 7
FAX 3 8 1-7 2 4 8

1 年間ありがとうございました

学校長 小池 慎一

さんがつじゅうくにちすいようび そつぎょうしょうしよしよじゅよしき ぶじ お
3月19日(水)に卒業証書授与式を無事終えることができました。

めい そつぎょうせいひとり そつぎょうしょうしよ てわた そつぎょうせい りっぱ しょうしよ う
94名の卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡しました。卒業生は、みな立派に証書を受
と ひとり そつぎょう じぶん ほうふ だんじょう おお こえ かた
け取り、一人ひとり卒業にあたっての自分の抱負を、壇上で大きな声で語ることができました。
れんしゅう かけてい しんぱい めん とうじつ む
練習の過程のなかで心配な面がなかったわけではありません。当日に向けてしっかりできる
のだろうかと担任を中心にハラハラドキドキの毎日でした。

わたし しょうがっこう そつぎょう おとな い ぐち ちゅうがっこう しんがく そつぎょう ひとり
私は、小学校を卒業し、大人への入り口である中学校に進学する卒業生一人ひとりに、
この卒業式に参加する心構えとして「自分たちの手で、自分たちの卒業式をかちとる(逃げ
ようとする自分から本当の自分を取り戻す)」ことができるようにと願っていました。

そつぎょう しき きんちょう し ぼ おも さんか じぶんじしん
卒業「式」という緊張を強いられる場で、「いやだなあ」と思って参加するか、「自分自身の
ふしめ つく おも さんか
節目を作る」という思いで参加するかによって、その意味合いは全く異なってくると思ってい
ます。緊張する場面であるからこそ、堂々と胸を張って精一杯の姿を見せて欲しいと私は思
っていました。そうした気持ちになることによって、節目を「自分自身の力で乗り越えること
ができた」という実感をもって卒業できるのだと思っています。

ことし そつぎょうしき ひとり そつぎょうせい しょうしよ う と じぶん ほうふ かた
今年の卒業式では、一人ひとりの卒業生が、しっかりと証書を受け取り、自分の抱負を語
り、思いをこめたよびかけでしめくり、とても立派だったと、私は思っています。

また、在校生を代表して式に参加した5年生の姿からも、そうした卒業生に、しっかりと
こたえ、これからの川島小学校を支えていくのだという思いがしっかりと伝わってきました。
すばらしい卒業式だったと思っています。

あした はるやす はるやす ほか ちょうききゅうぎょうきかん すこ い み あ こと
さて、明日から春休みです。この春休みは他の長期休業期間とは少し意味合いが異なり、そ
れぞれの児童が、新しい学年に進級するという期待をふくらませる時期である反面、ある種の
ふあん かん じき
不安を感じる時期でもあります。

かくたんにん しどう おこな かけてい てん
各担任からも指導を行ってきていますが、ぜひご家庭でもこうした点をふまえて、これまでの
がっこうせいかつ み ひと ひと せいり あたら がくねん しんきゅう そな
の学校生活で身につけてきたことを一つ一つ整理し、新しい学年への進級に備えるようにし
ていただけたらと思います。

いちねんかんほんこう きょういくかつどう たい りかい きょうりよく あつ れいもう あ
1年間本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただいたことに厚くお礼申し上げますと
すとともに、らいねんど ひ つづ しえん ねが もう あ
来年度も引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。